

上尾市都市計画マスタープラン 2020

令和5年度 評価・進管理 報告書

令和6年10月

上尾市 都市整備部 都市計画課

目 次

1 上尾市都市計画マスタープランについて

- 1-1 上尾市都市計画マスタープランの概要…………… 1
- 1-2 計画の目標期間…………… 2
- 1-3 計画の評価・進行管理の目的と実施手法…………… 2
- 1-4 分野別方針と目標指標に関する事業実施状況…………… 3

2 分野別方針における各施策（事業）の実施状況及び評価について

- 2-1 土地利用方針…………… 4
- 2-2 都市施設の整備方針…………… 5
- 2-3 公共交通の整備方針…………… 13
- 2-4 都市防災の方針…………… 14

3 各施策（事業）や目標指標の検証

- 3-1 上尾市都市計画課による検証…………… 16
- 3-2 事前照会に対する質問と回答…………… 別冊

1. 上尾市都市計画マスタープランについて

1-1 上尾市都市計画マスタープランの概要

- 本市では、将来の人口減少や少子高齢化、安全・安心に対する防災の必要性などを踏まえ、令和3年3月に、市の都市計画・街づくり分野の基本となる、都市計画マスタープランを全面改定しました（令和6年8月一部改定）。
- 改定した「上尾市都市計画マスタープラン2020」では、本市が目指す将来都市像としてコンパクト・プラス・ネットワーク型の都市構造※¹を明確にするとともに、その実現に向けた方針や施策を示しております。

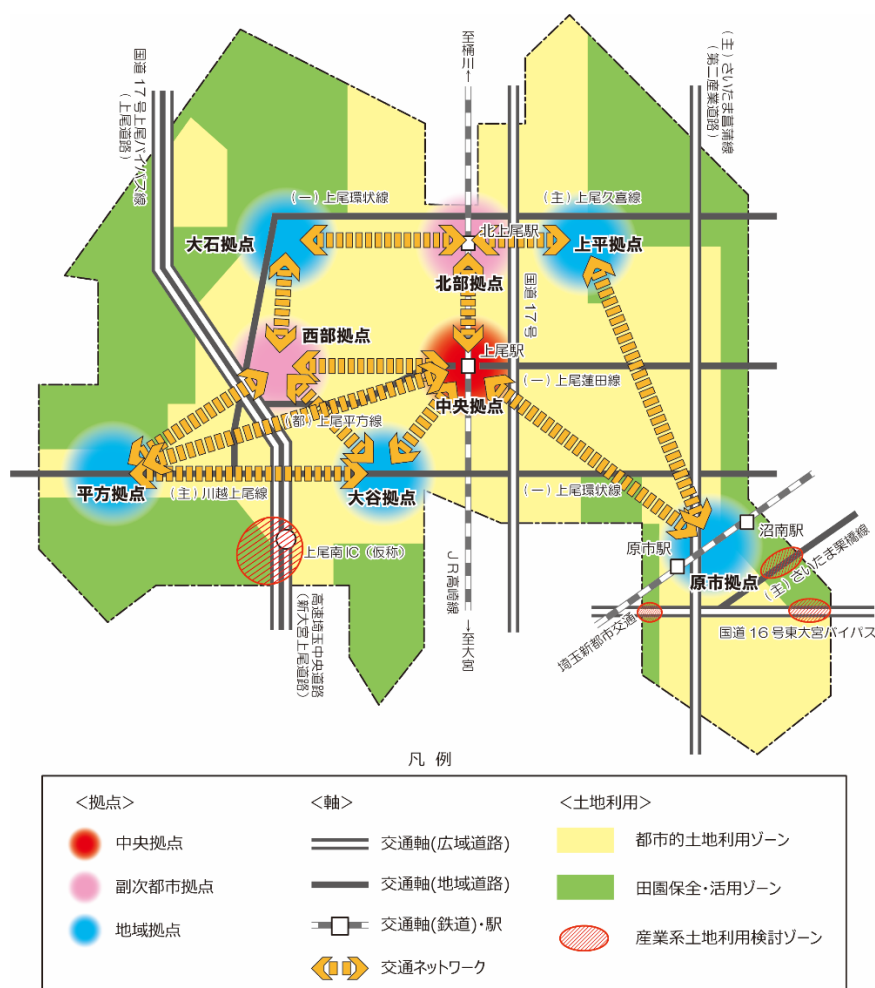


図-1 上尾市都市計画マスタープラン2020 将来都市構造図
(令和6年8月一部改定)

¹ 将来にわたり持続可能なまちづくりに向けて、住宅や医療、福祉、商業等の生活関連サービス施設などがまとまって立地し、住民が徒歩や自転車、公共交通でこれらの施設に容易にアクセスできるまちづくりの概念。

1-2 計画の目標期間

- まちづくりは、その実現に至るまでに多くの時間を要することから、中長期的な視点による計画と、それに基づく継続的な取り組みが重要です。
- このことから、上尾市都市計画マスタープラン2020は、概ね20年後を見据えた上で、以下のとおり10年間の目標期間を設定しました。

■目標期間：令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間

	平成23年 (2011年)	令和3年 (2021年)	令和13年 (2031年)	令和23年 (2041年)
第5次総合計画				
都市計画マスタープラン2010				
第6次総合計画				
都市計画マスタープラン2020				

図-2 上尾市都市計画マスタープラン2020 目標期間

1-3 計画の評価・進行管理の目的と実施手法

- 上尾市都市計画マスタープラン2020では、“土地利用方針”、“都市施設の整備方針”、“公共交通の整備方針”、“都市防災の方針”の4つの大きな分野別方針のもと、各施策（事業）を実施し、その状況进行评估・進行管理することで、計画の推進及び基本目標の達成を図ることとしています。
- 具体的には、各施策の管理主管課に対して、実施状況や目標指標の進捗状況を評価年度末に確認し、その中で課題の把握など施策の検証を行い、次年度の準備とするものです。
- また、実施している施策や、現在の目標設定・方針が、変化する社会情勢の中で計画の実現に適しているか、適時目標や施策の見直し・修正を行うことで、目指す将来都市像の実現を図ります。
- なお、令和5年度の評価・進行管理については、設定した目標指標の令和4年度時点からの進捗状況に対し、以下のとおり評価を行いました。

表-1 目標指標の評価基準

評 価	
◎	事業実施中（目標達成に向けて指標値の進捗がみられる）
○	事業実施中（指標値の推移はないが、進捗に向けて準備等を実施）
△	事業実施中（指標値が指標の方向性に対しマイナスに推移している）
－	事業の未実施

1-4 分野別方針と目標指標に関する事業実施状況

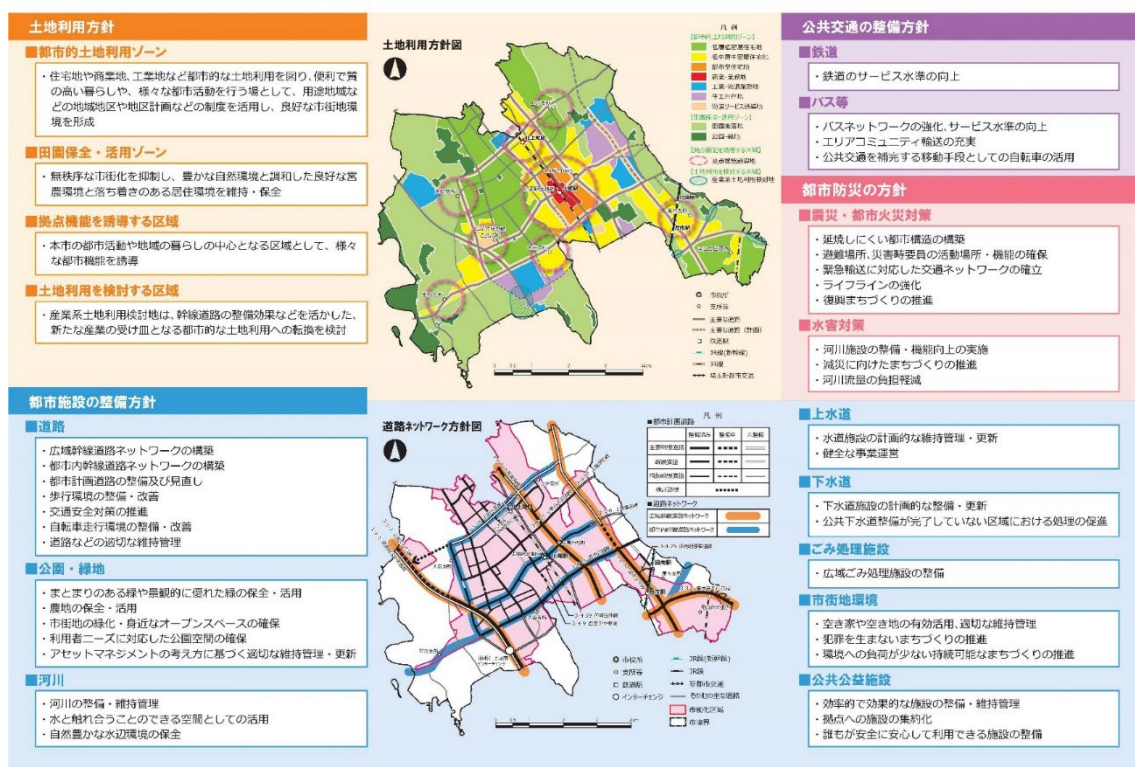


図-3 上尾市都市計画マスタープラン2020 分野別方針一覧

表-2 目標指標に関する事業実施状況

評価	件数	割合
◎（指標進捗あり）	16件（12件）	59%（44%）
○（指標進捗なし）	8件（13件）	30%（48%）
△（指標マイナス）	3件（2件）	11%（8%）
－（事業の未実施）	0件（0件）	0%（0%）
合計	27件	100%

（ ）内は令和4年度の事業実施状況

2. 分野別方針における各施策（事業）の実施状況及び評価について

2-1 土地利用方針

【施策の取組状況】

- 本市における市街化区域、市街化調整区域の区分のもと、用途地域等の都市計画に従い、メリハリのある土地利用を誘導しています。
- 市街化区域は、住宅地や商業地、工業地など都市的な土地利用を図るとともに、地区における街並み形成・防災力向上など良好な住環境の創出に向けた地区計画を推進するため、上尾市街づくり推進条例に基づく街づくり協議会の設立を推進しています。
- 市街化調整区域は、無秩序な開発を抑制し、農地や緑地の保全を基本としつつ、上尾道路など幹線道路の沿道地区においては、土地利用需要を踏まえ、周辺環境と調和した新たな産業の受け皿への転換を検討する“産業系土地利用検討地”として位置付け、産業用地の創出を検討しています。
- 令和4年に設立された「上尾道路沿道堤崎西部地区街づくり協議会」では、地区の合意のもと一団の土地利用が期待されており、街づくり協議会と、街づくり協議会が公募により決定した事業者、上尾市の3者が協働して、産業用地の創出に向けた土地区画整理事業の検討を進めるため、令和5年4月に基本協定を締結しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
地区計画区域面積	都市計画課	722.2ha	1214.6ha	760.7ha	760.7ha	○
土地区画整理事業の整備率	市街地整備課	89%	100%	97%	94%	△
緑地率	みどり公園課	28%	29%	28%	27%	△

【事業の実施内容】

- **地区計画区域面積**については、「上尾道路沿道堤崎西部地区街づくり協議会」において、周辺環境に配慮した地区計画の案について検討を進めました。
- **土地区画整理事業の整備率**については、現在施行中である「大谷北部第二土地区画整理事業」において、事業計画の変更に伴い、総事業費を増額したことで整備率は減少しましたが、事業は順調に推移しています。
- **緑地率**については、生産緑地の解除等により、市内の緑地面積は減少していますが、一方で、新たに寺東公園（小泉地区）を整備・供用するなど、引き続き未整備の都市公園の計画的な整備を進めていきます。

2-2 都市施設の整備方針

(1) 道路

【施策の取組状況】

- 新大宮上尾道路や第二産業道路の整備促進等、広域幹線道路の早期開通や、都市内幹線道路の混雑解消等について、関係機関への要望を継続的に実施しました。
- 第二産業道路は、新たに県道上尾環状線から県道上尾蓮田線までの約900mの区間について、令和5年11月に供用開始しました。
- 都市計画道路上尾伊奈線は、総合的な見地から、一部区間において幅員の見直しを検討しており、都市計画変更に向けた管理者協議（交通管理者等）を実施しました。
- 狭あい道路の解消や特定道路のバリアフリー化に向け、計画的に道路整備を実施しました。
- 道路交通の安全対策として、路面標示や道路照明等を適切に維持管理しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
都市計画道路整備割合	道路河川課	11%※1	100%	11%	11%	○
狭あい道路整備箇所数	道路河川課	0 箇所※2	6 箇所	5 箇所	6 箇所	◎
バリアフリー路線整備距離	道路河川課	1.7km	1.8km	1.7km	1.7km	○
自転車レーン整備距離	道路河川課	5.6km	12.0km	5.6km	9.5km	◎

※1：事業化されている都市計画道路（西宮下中妻線、沼南駅停車場線、上大久保線）での整備割合（事業化の状況により変更有）とする。

※2：今期計画期間内における実施箇所数とする。

【事業の実施内容】

- 都市計画道路整備割合については、西宮下中妻線（1工区区間）の街渠築造工事（385m）を実施するとともに、西宮下中妻線（2工区区間）の道路整備に向けた用地取得に着手しました（全13件中3件契約済み）。
- 狭あい道路整備箇所数については、1路線について整備完了し、新たに1路線の整備に向けた測量業務に着手するなど、狭あい道路の解消に努めました。
- バリアフリー路線整備距離については、上尾駅西口ロータリー区間の歩道整備に向け、関係機関（バス等）との協議を実施しました。
- 自転車レーン整備距離については、都市計画道路西宮下中妻線やその他対象路線の整備（3.9km）を実施しました。

(2) 公園・緑地

【施策の取組状況】

- ふれあいの森やふるさとの緑の景観地について、民有地の公有地化などにより、景観的に優れた緑の保全・活用に努めました。
- 生産緑地について、本市で初めて追加指定を行うこととし、新たに7件の指定希望受付を行いました。
- 農業における人と農地の諸課題の解決に向け、新たに1地区で「人・農地プラン」(法改正により「地域計画」に移行)の策定について、地元との協議、意向確認を実施しました。
- 農地の担い手の確保に向け、新規就農者の育成、農業者への営農継続に向けた支援事業を実施しました。
- 遊休農地の所有者に対し利用意向調査を行うとともに、貸出や売却を希望する農地の情報をホームページに掲載しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
緑の景観地登録件数	みどり公園課	2 件	2 件	2 件	2 件	○
ふれあいの森事業登録件数	みどり公園課	7 件	7 件	6 件	6 件	○
中央拠点内オープンスペース整備箇所	みどり公園課	0 箇所※1	1 箇所	0 箇所	0 箇所	○
ワークショップ・説明会開催件数	みどり公園課	0 回※1	20 回	8 回	15 回	◎

※1：今計画期間内における実施箇所・実施回数とする。

【事業の実施内容】

- 緑の景観地登録件数については、埼玉県との協働により、藤波・中分ふるさとの緑の景観地(約5, 200㎡)を公有地化しました。
- ふれあいの森事業登録件数については、登録件数6件のうち、1件の一部区域で登録解除が発生しましたが、引き続き件数維持に努めております。
- 中央拠点内オープンスペース整備箇所については、新規の空閑地指定に向け、自治会等と協議を実施するとともに、新しく借地公園制度を創設しました。
- ワークショップ・説明会開催件数については、戸崎公園北側未利用地や(仮称)平方雨沼公園等の整備に関してワークショップや説明会を実施(全7回)し、地域の意向を捉えた魅力ある公園づくりの準備を進めました。

(3) 河川

【施策の取組状況】

- 市が管理する河川について、総合流域防災事業計画に基づく計画的な整備や改修を進めるとともに、効率的・適切な維持管理に努めました。
- 江川の改修について、関係機関に対し要望書を提出しました（令和5年8月）。
- 原市沼川の河川改修については、埼玉県が原市沼調節池の整備を実施しており、その進捗を踏まえながら推進していきます。
- 市内の親水公園及び遊歩道は、水と触れ合うことのできる空間として、歩行者・自転車利用者が安全に利用しやすいよう適切な維持管理に努めました。
- 上尾中堀川において、水辺環境を保全し、水質浄化や生物生息空間づくりを視野に入れた多自然型護岸整備を進めました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
多自然型護岸整備距離	道路河川課	620m	850.5m	620m	700m	◎

【事業の実施内容】

- 多自然型護岸整備距離については、上尾中堀川の護岸整備を実施（両岸、80m）しました。

(4) 上水道

【施策の取組状況】

- 令和5年3月に改定した上尾市水道事業ビジョンに基づき、各種水道施設の計画的な更新を実施するとともに、浄水場等の統廃合の検討を継続して行いました。
- 水道事業のサービスレベル（安心安全な水道水の安定供給）を維持するため、浄水場の運転監視や管路の定期管洗浄を効率的かつ適切に実施し、計画的な事業運営を行いました。
- 大規模施設改修として、東部浄水場着水井・混和池の更新工事を実施しました（令和元年度着工、令和5年度完了）。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
上水道管路耐震化整備率	水道施設課	29.0%	34.0%	29.9%	30.2%	◎

【事業の実施内容】

- 上水道管路耐震化整備率については、令和3年12月に策定した管路耐震化実施計画に基づき、優先度の高い重要給水施設管路を中心に整備を進めました。

（５）下水道

【施策の取組状況】

- 公共下水道については、荒川左岸南部流域関連上尾公共下水道事業計画に基づき、整備を推進しました。
- 河川などの水質汚濁を防止するため、地頭方地区、小敷谷地区等の公共下水道（污水）を整備しました。また、領家地区の公共下水道（污水）整備に向け、幹線管路の整備を実施しました。
- 市街地の浸水被害を軽減するため、上尾市雨水管理総合計画による重点対策地区（ニツ宮地区）の公共下水道（雨水）整備計画を検討しました。
- 都市下水路の適切な維持管理に努めました。
- 浄化槽処理促進区域における合併処理浄化槽による污水处理を促進しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 （基準値）	R12 年度 （目標値）	R4 年度 （昨年度）	R5 年度 （現状値）	評価
下水道管路耐震化整備率	下水道施設課	40.7%	50.0%	41.9%	42.2%	◎
下水道整備率	下水道施設課	89.1%	100%	92%	93%	◎
合併処理浄化槽設置基数 （浄化槽処理促進区域）	生活環境課	2,613 基	2,713 基	2,645 基	2,659 基	◎

【事業の実施内容】

- 下水道管路耐震化整備率については、公共下水道整備及び下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道管路耐震化を実施しました。
- 下水道整備率については、地頭方地区、小敷谷地区等の公共下水道（污水）の整備を実施しました。
- 合併処理浄化槽設置基数については、浄化槽処理促進区域における合併処理浄化槽への転換を促進するため、14 件の補助金を交付しました。

（６）ごみ処理施設

【施策の取組状況】

- 令和５年４月１日に上尾伊奈資源循環組合が設立され、今後は地方自治法に基づく一部事務組合（特別地方公共団体）として、同組合がごみ広域処理施設の整備事業を推進していきます。
- 上尾伊奈資源循環組合では、新ごみ処理施設の整備について、長期的かつ総合的な視点に立ち、周囲への環境に配慮し、安全安心なごみ処理施設とするための施設整備の基本的な方向性をまとめた「上尾伊奈ごみ広域処理施設整備基本構想」を令和６年３月に策定しました。

【目標指標の進捗状況】

設定なし※

- ※ 目標指標の設定はありませんが、上尾伊奈資源循環組合では、令和１５年度のごみ広域処理施設供用開始に向けて、整備事業を推進しています。

（７）市街地環境

【施策の取組状況】

- 上尾市、鴻巣市、北本市、桶川市、伊奈町と宅地建物取引業協会彩央支部とで、「埼玉県中央地域における空き家の利活用等に関する協定」を締結し、空き家の活用相談をしたい方、空き家を売却等したい方、購入等をしたい方を対象とした空き家バンクの運用を実施しています。
- 防犯カメラの新規設置に向け、設置箇所や条件等について検討を進めました。
- 上尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を一部改定（令和６年３月）し、温室効果ガス削減目標を２６％から４６％に引き上げました。また、当該計画に新たな重点施策として、省エネルギー設備・機器の導入拡大、再生可能エネルギー設備の導入拡大、建築物の省エネルギー化の促進、移動手段の脱炭素化の促進を位置付けました。
- 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく長期優良住宅の認定（３２４件）や、都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法）に基づく低炭素建築物の認定（１９件）を実施しました。
- 総合福祉センターにおいて、ソーラーパネル設置の検討及び設計を行い、公共施設における再生可能エネルギーの利用を促進しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 （基準値）	R12 年度 （目標値）	R4 年度 （昨年度）	R5 年度 （現状値）	評価
空き家相談会開催件数	交通防犯課	０件※Ⅰ	２０件	Ⅰ件	２件	◎
防犯設備設置件数 （防犯カメラ）	交通防犯課	０件※Ⅰ	５件	０件	２件	◎

※Ⅰ：今計画期間内における実施件数とする。

【事業の実施内容】

- 空き家相談会開催件数については、埼玉県や埼玉県宅地建物取引業協会彩央支部と協力し、令和６年２月にオンライン空家相談会を開催しました。
- 防犯設備設置件数（防犯カメラ）については、アサヒ飲料株式会社、上尾警察署と上尾市安心安全なまちづくりに関する連携協定を締結（令和５年５月）し、市内の公共施設に防犯カメラ付き自動販売機を２件設置しました。

（８）公共公益施設

【施策の取組状況】

- 上尾市公共施設等総合管理計画、上尾市個別施設管理基本計画に基づき、効率的で効果的な施設マネジメントにより、公共施設等の適切な維持管理、更新を実施しました。
- 公共施設の再編と、住民サービス向上を図るための拠点への集約化として、保育所、児童発達支援センター（つくし学園）、発達支援相談センターを集約した「子ども・子育て支援複合施設（AGECOCO）」を開所（令和５年４月）するとともに、西上尾第一、第二保育所を廃止しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
PPP／PFI の導入件数	施設課	0 件※1	2 件	1 件	1 件	○
上尾市個別施設管理基本計画達成率（期間内）	施設課	5.4%	100%	25.9%	37.0%	◎

※1：今計画期間内における実施件数とする。

【事業の実施内容】

- PPP／PFI の導入件数については、西貝塚環境センター基幹的設備改良・整備運営事業を、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI 法）に基づく特定事業として選定（令和４年度）し、公募型プロポーザルによる事業者が決定（令和５年６月）しました。
- 上尾市個別施設管理基本計画達成率については、計画の対象となる 27 施設中、10 施設の改修が完了し、1 施設を廃止（大石保育所を廃所）しました。

2-3 公共交通の整備方針

(1) 鉄道

【施策の取組状況】

- JR 高崎線について、混雑解消と利用者の安全性、利便性及び快適性の向上に向け、鉄道輸送力の増強等を JR 東日本高崎支社へ要望（令和 6 年 1 月）しました。

(2) バス等

【施策の取組状況】

- バスネットワークの強化、サービス水準の向上に向け、「上尾市地域公共交通計画」に基づき、基本施策のひとつである市内循環バスの見直しに関する取り組みを進めています。
- 令和 5 年度上尾市地域公共交通活性化協議会に市内循環バス「ぐるっとくん」見直し実施方針（案）を諮り、承認（令和 5 年 8 月）されました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
バスライド整備エリア駐輪場整備台数	交通防犯課	0 台※1	50 台	0 台	15 台	◎
市内循環バス“ぐるっとくん”の利用者数	交通防犯課	468,262 人	480,000 人	420,195 人	444,371 人	◎
市民意識調査による交通満足度	交通防犯課	—%※2	10%	—%	12.5%	◎

※1：今計画期間内における整備台数とする。

※2：前回の市民意識調査では未調査のため「—」とする。

【事業の実施内容】

- バスライド整備エリア駐輪場整備台数については、市内公共施設を活用したバスライド駐輪スペースとして5拠点（支所）各3台を確保しました。
- 市内循環バス“ぐるっとくん”の利用者数については、利用者が減少している状況ですが、市内転入者への上尾市公共交通マップの配布や、新聞折込による広報、デジタルサイネージを活用した時刻表の導入などにより利用促進を図っています。
- 市民意識調査による交通満足度については、令和 5 年度の実施結果により「満足」の割合が 12.5%でした。

2-4 都市防災の方針

(1) 震災・都市火災対策

【施策の取組状況】

- 上尾市既存木造住宅耐震診断補助制度に基づき、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強い住宅の整備を進めるため、木造住宅の耐震診断（一般診断・精密診断）への補助を実施するなど、既存木造住宅の耐震化を促進しました。
- 地震が発生した際のブロック塀倒壊による被害を未然に防ぐため、危険ブロック塀等を撤去し、又は撤去した範囲において新たに塀を築造するための補助を実施しました。
- 令和5年10月に株式会社セキ薬品と「緊急時における物資の供給に関する協定」を締結し、令和6年1月に埼玉県レンタカー協会と「災害時における車両貸渡に関する協定」を締結するなど、大規模災害等における民間企業等との連携強化を図っています。
- 令和5年度に行われた住民避難訓練において、電力・ガス事業者等の防災協定締結企業がブース展示を行い、事業者の取組みの周知啓発および市と事業者の連携強化を図っています。
- 上尾駅出張所の耐震改修工事を実施し、市内の主要な公共施設の耐震改修が完了しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
防火地域及び準防火地域指定面積	都市計画課	168.2ha	833.1ha	199.6ha	199.6ha	○
消防水利施設設置基数	警防課	3,760 基	3,804 基	3,779 基	3,786 基	◎
災害用ヘリポート登録箇所数	危機管理防災課	13 箇所	15 箇所	13 箇所	10 箇所	△

【事業の実施内容】

- 防火地域及び準防火地域指定面積については、「上尾道路沿道堤崎西部地区街づくり協議会」が検討する産業用地の創出に向け、準防火地域指定の検討を進めました。
- 消防水利施設設置基数については、消防水利が不足する地域や、開発行為等に伴い、消防水利の設置を進めました。
- 災害用ヘリポート登録箇所数については、登録済みのヘリポート3箇所が登録状況の変更により該当しないとして削除したことから、登録箇所数が減少しましたが、ドクターヘリポートの候補地3箇所について、令和6年度の新規登録に向けた現地調査を実施しました。

(2) 水害対策

【施策の取組状況】

- 荒川左岸の堤防整備について、国土交通省に対し「荒川左岸の無堤防区間解消とより強固な堤防整備について」の要望書を提出（令和6年1月）し、堤防や調節池の早期整備を要望しました。
- 市が公開しているweb版ハザードマップに住所・地番検索機能を導入し、オープン化の機能向上を図りました。
- 令和6年2月に実施した上尾市自主防災連合会連絡協議会研修会にて、防災ガイドブック・ハザードマップに関する研修を実施しました。
- 市民による避難準備や迅速な水防活動を支援するため、市内7箇所に河川の状況をリアルタイムで情報提供する河川監視カメラを設置・公開しています。
- 内水による浸水被害の軽減を図るため、ニツ宮地区における公共下水道（雨水）の整備手法を検討するとともに、東町地区の基礎調査を実施しました。
- 土地開発に伴う雨水流出を抑制するため、開発許可関連基準にある雨水排水抑制施設の設置基準など、雨水排水抑制に関わる指導を行っています。
- 減災に向けたまちづくり推進として、上尾市総合治水計画に基づくブロック単位の具体的治水対策等について定める「上尾市治水整備基本計画」を作成しました。

【目標指標の進捗状況】

指 標	管理主管課	R2 年度 (基準値)	R12 年度 (目標値)	R4 年度 (昨年度)	R5 年度 (現状値)	評価
雨水貯留施設助成件数	建設管理課	204 件	484 件	243 件	257 件	◎

【事業の実施内容】

- **雨水貯留施設助成件数**については、広報あげお（年2回掲載）やイベント会場等における周知を行い、14件の助成を実施しました。

3. 各施策（事業）や目標指標の検証

3-1 上尾市都市計画課による検証

- 目標指標を設定した27の施策（事業）のうち、全ての事業が実施中となっています。
（令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により1事業が未実施でした）
- 実施中である27事業については、目標指標の数値進捗がある事業が16事業、目標指標に数値進捗はないが、進捗に向けて準備を実施した事業が8事業、目標指標の数値進捗がマイナスに推移している事業が3事業となっています。

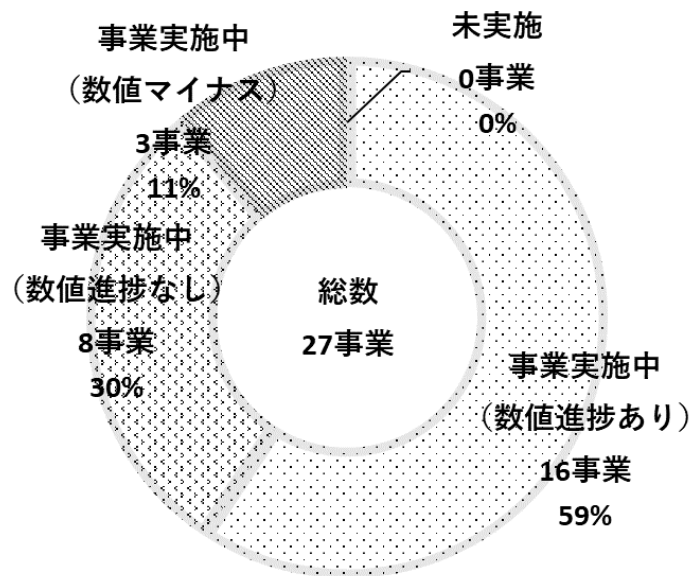


図-3 目標指標を設定した施策（事業）の実施状況

- 現時点で目標指標や目標値の見直しの必要はないと考えますが、引き続き各施策（事業）の実施状況や進捗等を踏まえ、適時見直し・修正を検討します。
- また、目標指標の設定がない施策（事業）についても、具体的な対応や課題等を確認し、適切に実施状況の評価・進行管理を行ってまいります。